

令和2年度事業報告書

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症が運営事業全てに大きく影響しました。4月、5月は、宿泊とレストラン以外の部門を休止、営業を再開した6月以降においても利用は回復せず、特に通常時であれば、収益確保の主力となる宴会部門が対予算で97%の減収となりました。また、札幌市の感染症対策に協力し、保健所の感染症対策室の入居を受け入れました。

利用状況は、年間利用者43.0万人の目標に対して、17.4万人と25.6万人減(▲59.4%)、事業収益は、7億3,600万円の目標に対して4億0,704万円減(▲55.3%)の3億2,896万円となりました。

国や北海道、札幌市の新型コロナウイルス感染症関連の各種支援金の受給や雇用調整助成金を最大限活用するなど、収入を確保するとともに、賞与の大幅な削減や退職者の不補充など、人件費も含めた費用の削減に取り組みましたが、損益で5,598万円(対前年▲3,612万円)の赤字となり、正味財産は1,082万円の債務超過となりました。

各部門の利用状況等は以下のとおりです。

I 勤労者福祉事業等

1 雇用促進、就業支援事業

札幌市が主催する「合同企業説明会」「労働パネル展」などに協力しました。なお、例年受け入れております近隣小中学校をはじめ市内高等学校のインターンシップの受入は、感染症の影響により実施出来ませんでした。

2 地域関連事業

例年どおり、地域社会への貢献を目的として、『スローライフ・イン・にーよん』事業をはじめとする町内会、商店街、料飲店協会等が主催する事業に積極的に参加・協力しましたが、主な事業は中止もしくは縮小となりました。

主な事業の状況は、以下のとおりです。()内は予定等

- (1) 暴力追放街頭啓発活動(毎月1回実施)中止
- (2) フラワーロード事業(5月下旬～9月末)実施
- (3) ノースロード24フェスタ(7月末:屋外(正面)、広場他)中止
- (4) 24「ワンコイン商店街」(10月10日:広場)実施
- (5) 24ロードウインターフェア(年末、12月29・30日抽選会:広場)実施
- (6) ニーヨンエリアミュージックフェスティバル(1月31日:音楽ホール)中止
- (7) にーよんアイスキャンドルナイト(2月1日～3日:小公園他)実施

II 札幌サンプラザ運営事業

1 プール

感染症対策に係る休業要請の期間中に濾過機の故障が発生し、復旧のため改修工事を実施したことから、4月14日から8月16日までの休業となりました。休業により水泳教室の会員数は休業前の8割弱となり、一般開放の利用者は例年の5割ほどとなりました。

利用状況は、対前年、水泳教室は21,546人の減、一般開放は11,413人の減となり、全体で32,959人の利用減となりました。

() 内は令和1年度実績、1日平均は休業日数を除外して算出

(1) 水泳教室	利用人数	29,434人	(50,980人)
	1日平均	117人/日	(155人/日)
(2) 一般開放	利用人数	8,676人	(20,089人)
	1日平均	34人/日	(61人/日)

2 音楽ホール

4月21日から5月31日まで休業となり、再開した6月の催事はすべてキャンセルとなりました。7月以降に開催された催事も人数制限等、感染予防策を徹底した中での開催となり、実施し得る催事内容も限られる状況でした。例年実施している自主公演は、すべて中止としました。

利用状況は、対前年、件数で66件減の110件、人数では42,685人減の16,213人の利用となりました。

() 内は令和1年度実績

(1) 利用件数	110件	(176件)
(2) 利用区分数	236区分	(398区分)
1件あたり	2.1区分/件	(2.3区分/件)
(3) 利用人数	16,213人	(58,898人)
1件あたり	147人/件	(335人/件)
(4) 稼働率	33.0%	(54.7%)

※ 利用区分は、1日を午前、午後、夜間の3区分としたもの

3 文化教室

4月21日から5月31日まで休業。再開後もカラオケ教室等、ほぼ年間をとおして開講できない教室もあり、高齢者対象の教室は閉講する動きとなりました。秋に1Fふれあい広場で開催している作品展と冬に音楽ホールで開催している発表会は中止としました。利用人数は、対前年、5,581人減の17,093人となりました。

() 内は令和1年度実績

(1) 講座数	112件	(121件)
(2) 利用人数	17,093人	(22,672人)

4 会議・研修

感染症の影響により、大人数での利用はなく、少人数の利用に限られましたが、感染症対策のため、従来よりもひと周り大きめの会場に対応しました。12月からは感染症対策に係る保健所の事務室として、2F金枝の間、平安の間等を専用スペースとして提供しました。

保健所の利用も含め、件数で1,945件（対前年106件減）、利用人数では41,530人（対前年44,742人減）となりました。
（令和1年度実績：2,051件、86,272人）

5 宿泊

スポーツや文科系大会参加時の宿泊や小学校の研修旅行等に伴う需要が激減しました。GoToトラベル等の支援策から、一時期、回復傾向も見られましたが、コロナ禍前の平成30年度（21,209人）と比較して46.3%の利用となりました。対前年では、利用人数は9,850人減の9,830人、客室稼働率は26.7ポイント減の40.9%となりました。なお、札幌市の感染症対策への協力の一環として、感染症対策に従事した医療・福祉関係者等の宿泊を、積極的に受け入れました。

（令和1年度実績：19,680人、客室稼働率：67.6%）

6 レストラン

年間を通じて営業時間短縮、距離を取っての営業となり、集客イベントも中止しました。各種フェアメニューの継続、テイクアウトメニューの強化など、収入確保に努めましたが、利用人数は、対前年36,230人減の49,701人と、コロナ禍前の平成30年度（94,954人）の52.3%の利用となりました。

（令和1年度実績：85,931人）

7 宴会

（1）一般宴会

感染症の影響を最も受け、一般宴会だけでなく会議後の会食も激減となりました。

利用件数は90件（対前年897件減）となり、利用人数は1,530人（対前年43,628人減）でした。

（令和1年度実績：987件、45,158人）

（2）法要

会場内での会食を避けたオードブル、弁当の持ち帰りを中心となりました。対前年、件数で109件、人数で1,802人の減となりました。

（令和1年度実績：172件、2,412人）

Ⅲ 理事会及び評議員会の開催

- 1 第1回 理事会（令和2.4.1 書面決議）
 - （1）専務理事の選任について

- 2 第1回 臨時評議員会（令和2.4.1 書面決議）
 - （1）評議員及び理事の選任について

- 3 第2回 理事会（令和2.6.11 札幌サンプラザ）
 - （1）令和元年度 事業報告
 - （2）令和元年度 決算報告及び監査報告
 - （3）臨時評議員会の開催について
 - （4）定時評議員会の開催について

- 4 第2回 臨時評議員会（令和2.6.19 書面決議）
 - （1）評議員及び理事の選任について

- 5 定時評議員会（令和2.6.30 札幌サンプラザ）
 - （1）令和元年度 事業報告
 - （2）令和元年度 決算報告
 - （3）理事の選任

- 6 第3回 理事会（令和2.6.30 書面決議）
 - （1）理事長及び専務理事の選任について

- 7 第4回 理事会（令和3.3.19 書面決議）
 - （1）評議員会の開催について

- 8 第3回 臨時評議員会（令和3.3.25 書面決議）
 - （1）理事及び監事の選任

- 9 第5回 理事会（令和3.3.30 書面決議）
 - （1）令和3年度 事業計画
 - （2）令和3年度 収支予算